

2021年10月吉日

弦泳会会員の皆様

弦泳会会長 北村公一

お知らせ

平素より現役の支援並びに弦泳会の運営にご協力いただき感謝いたします。

会員の皆様におかれましては、コロナ感染症防止策を励行され健やかに過ごしのことと存じます。

下記項目につきましてお知らせいたしますのでご確認くださいませようお願い申し上げます。

記

1. 2021年「弦泳会総会・懇親会」並びに「水の祭典」開催中止のお知らせ
2. 弦泳会年会費納付のお願い
3. 今村真競泳ヘッドコーチ退任のお知らせ
4. 関西学院大学スポーツ局（KGAD）について

1. 2021年「弦泳会総会・懇親会」並びに「水の祭典」開催中止のお知らせ

本年9月上旬に幹事会を開催し、11月に開催を計画しておりました総会、懇親会、水の祭典を昨年に続き全て中止とすることといたしました。その時点で11月頃にはワクチン接種も更に進み感染拡大もかなり押さえこまれているのではないかという推測がありましたが、懇親会において会員の皆さまと現役を合わせ年齢幅のある100名近い参加者が一堂に会することになりますので感染リスク回避の観点から中止すべきという結論に至りました。

久しぶりの再会を楽しみにお待ちいただいている会員の皆様にはまことに申し訳ないことではありますが、参加者の安全、健康を優先したくご理解いただきますようお願い申し上げます。コロナ禍が終息し皆様と笑顔でお会いできる日が訪れますことを心よりお祈りいたします。

2. 弦泳会年会費納付のお願い

コロナ禍にあつて多くの現役がアルバイト先の確保も満足にいかず苦しい経済環境におかれています。部員全員に満足のいく援助を施すことは困難ではありますが「関学水上競技部に入部してよかった」と実感してもらえるような支援体制を整えてまいりたいと願っております。永久会費を納入いただきました会員を除く全ての会員の皆さまに重ねて年会費納付のお願いを申し上げます。

◆KGUST ウェブサイト「弦泳会費納入・ご寄付のお願い」ご確認ください。

<http://kgust.com/kaihi.html>

3. 今村真競泳ヘッドコーチ退任のお知らせ

今村さんから、本年6月下旬に、今季2021年10月の日本学生選手権を最後に、水上競技部の競泳ヘッドコーチを辞任させてもらいたいとの申し出がありました。合わせてスタッフ業務も兼務していただいておりますが、そちらも辞任される意向です。

当方、心の準備が全くできておりませんでしたので大変驚きましたが、熟慮の末の決断という申し出でありましたので、幹事会で協議し残念ながら承諾することといたしました。

後任コーチについて、かねてから考えを巡らせていただいていたようですが現時点で心当たりがないとのことでした。今村氏いわく、当面の間コーチ不在でも、かねてから実際に上級生が練習メニューを作成し、うまく回しており、本当の意味での「学生主体」が成立しつつあるので心配はないとのことでした。また、今村さんは、会計、広報、勧誘、学校との折衝等のスタッフ業務を縁の下の力持ちのごとく担っていただいております。今村さんの人柄がにじみ出る詳細にわたる引継ぎ書を提出されました。今後はスタッフ業務の多くを学生が担うこととなりますが、内藤監督、幹事団に対する引継ぎ事項も含め抜け漏れなく実行しなければなりません。次の新幹部には今村さんから半年ほどかけて順次、引き継いでいくと申し出いただいております。

2003年1月から今日まで約19年間の長きにわたる在任期間でした。その間どれほど多くの現役が今村さんの薫陶を受けたことでしょうか。常にクールでありながら熱い気持ちを持ち続け水上競技部の運営に貢献されました。伸び盛りの、また悩み多き若者に寄り添い、時に厳しくまた親身になり助言をされました。水上競技部にとりかけがえのない存在でありました。これからも一人のOBとしてご支援いただけるものと考えております。

後任については、内藤監督が中心になって人選を進められます。力を貸しても良いとお考えのOB・OGがいらっしゃいましたら是非内藤監督にご連絡お願いします。

4. 関西学院大学スポーツ局 (KGAD) について

関西学院大学は2021年4月、これまで課外活動であった体育会活動を正課外教育として位置付け、その活動を支援するために「競技スポーツ局 (KGAD=Kwansei Gakuin University Athletic Department)」を創設しました。

大学のスポーツ活動は、「体育会」傘下の各競技団体が、独自の規則などに則り管理運営され、学生の自主活動として「正課」とは一線を画した「課外活動」と位置付けられてきました。学生の自主活動とはいえ、これまで大学がその安全配慮義務や管理責任を問われる事故や不祥事が発生しています。KGADは、まず「安全性・健全性の向上」「学業との両立」の2つの基礎条件を確立する取り組みから推進し、学生の主体性を尊重しながら大学の教育プログラムとしてスポーツ活動の発展・振興を目指すというものです。

加盟資格を有する団体は、体育会43部(体育会本部含む)及び応援団総部3部で、スポーツ局は体育会からKGADへの移行を推奨し、移行期間は2027年度末までと設定されています。2028年度以降は体育会という考え方がなくなりKGADへ移行しない体育会

団体は同好会扱いとなり従来大学から受けていた支援が受けられなくなる見込みです。KGAD が各団体から個別で申請を受け付け、審査の上、加盟を認める制度です。2021.8.31 現在 13 競技団体 17 チームが加盟済です。加盟条件の中にスポーツ局が承認した監督、コーチによる現場での指導が月 10 日（監督は最低 5 日）以上必須と規定されています。水上競技部の場合は、競泳、水球両パートが合算ではなくそれぞれ現場指導日数 10 日の条件を満たす必要があります。弦泳会幹事会はこの条件は現行指導体制から考えて高いハードルであると認識していますが KGAD の決定は覆すことはできません。現在、内藤監督、水球田中コーチが中心となって加盟条件クリアのための方策を検討中です。進展がありましたら改めてご報告いたします。

以下 KGAD 関連情報です。

◆「競技スポーツ局」サイト

<https://kgad.kwansei.ac.jp/>

◆関西学院大学ニュース 2021.04.21.

「競技スポーツ局」を創設～体育会の課外活動は、大学教育の一環としての「正課外教育」へ ～

<https://www.kwansei.ac.jp/news/detail/4312>

◆関学ジャーナル特集 2021 年 9 月号「大学スポーツの新たな挑戦」

関西学院大学→関西学院大学について→広報誌→関学ジャーナル（関西学院通信）→

2021 年 9 月号 pdf

<https://www.kwansei.ac.jp/cms/kwansei/pdf/pr/journal/202109.pdf>

以上